

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業			事業番号	13-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部歴史文化推進担当	立花 実	教育総務課歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいもてるまちをつくる	
		施策	13	歴史・文化遺産の活用と継承	
予算事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業				
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度	—
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市文化財保存活用地域計画			計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	・市域に所在する多くの文化財を紹介する常設展示施設が求められています。 ・地域活性化を進める上で、日本遺産を含む市域の文化財が有効な資源となっています。				
目 的 (何をどうしたいのか)	・市民から寄贈を受けた土地・建物を有効活用し、市内外の様々な人に地域の歴史と文化財を公開する(仮称)郷土資料館としての整備に向けた検討を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び市への来訪者				
事業内容 (手段、手法など)	・施設の適正な維持、管理を進めます。 ・施設を利用して、市が所有する資料の活用に向けた整理作業を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	施設の在り方の検討	検討	検討		
	施設を利用した展示会等の開催	実施	実施		
	施設維持・管理	実施	実施		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
	令和3年度		令和4年度		
	施設を利用した展示会等の開催件数	0回 (令和2年度)	1回	1回	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)		- 施設の老朽化に対応するため、日常的な管理に注意し、修繕等の実施については的確に判断していきます。 - 本施設において実施している収集資料の整理作業については、計画的、継続的に実施していきます。 - 他施設との機能統合も含め、効率的な施設のあり方を想定し、具体的な活用方法を検討します。								
実施方法 〔選択・記入〕		☐ すべて直接実施 ☒ 左記以外								
		☒ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者		セコム株式会社、(株)中村園、(公社)シルバー人材センター				
		☐ 補助金		補助先						
		☐ その他		具体的内容						
実施結果		項目		年度						
				令和3年度		令和4年度				
		施設の在り方の検討		検討		検討				
		施設を利用した展示会等の開催		中止		中止				
		施設維持・管理		実施		実施				
実施した取組の内容		・市で所有している資料について、保存・活用に向けた整理作業を会計年度任用職員を雇用し、継続実施しました。 ・施設維持のため植栽管理、敷地内の草刈り、室内清掃、警備業務、浄化槽清掃等を委託して実施しました。								
目標の達成状況		【指標名】		年度						
		【現状値】		令和3年度		令和4年度				
		施設を利用した展示会等の開催件数		0回 (令和2年度)		0回				
コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		17		千円		1,607		千円	
	内訳	国県支出金 ①	0		千円		0		千円	
		地方債 ②	0		千円		0		千円	
		その他特財 ③	0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	17		千円		1,607		千円	
	国県支出金の内容									
	その他 特財の 内容	受益者負担	☐ 有 ☐ 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.38	人	3,108	千円	0.38	人	3,257	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.38	人	3,108	千円	0.38	人	3,257	千円
	トータルコスト (a) + (b)		3,125		千円		4,864		千円	
	単位 当たり コスト	対象 数	定義	展示会・講座の参加者数		単位	施設維持のための費用		単位	
			対象数	0		人	0		人	
		総事業費 ／対象数			円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☐ 計画どおり (A) ☒ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	・施設の管理については適正に実施しました。 ・市所有資料の整理作業については、会計年度任用職員を雇用し、計画どおり進めることができました。 ・施設の活用方法については、文化財の収蔵・資料整理施設と位置付け、整備に向けた条件を検討していくこととしました。 ・コロナの影響もあり、展示会等の開催は見送りました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	寄贈を受けた住宅施設を文化財の収蔵・資料整理施設として利用している事例がないことから、他市町との比較はできないと考えます。
有効性 〔選択・記入〕	☐ 高い (A) ☒ 普通 (B) ☐ 低い (C)	B	左記判断理由	・施設については利用価値が高いものの、個人の住宅であったことから利用方策には制約があります。新たに資料整理の場として活用し、利用の幅を広げました。 ・本市の公共施設等総合管理計画の見直しの中で、他の保管施設、整理施設と合わせて、文化財の収蔵・資料整理施設としての活用を検討していくこととしました。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・維持管理については必要最低限の経費で対応しました。 ・市史編さん資料等、市所有資料の整理については、効率的に進めることができます。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	文化財の保存・活用を図る施設としての旧堀江邸の有効活用策としては、文化財の保存施設である文化財保存室の機能移転先として利用することを検討し、伊勢原市公共施設等総合管理計画、伊勢原市公共施設再配置プランでの位置づけを行いました。 今後は同計画に基づき、現状で実施している資料整理の環境を整備するとともに、資料保存の一元化を図るため、同敷地内での収蔵庫整備に向けた検討を進めていきます。